



みんなで減らそう!

食品ロス



今日から実践!

3つの食品ロス削減術



1. すぐ食べるなら『てまえどり』

- 購入してすぐ食べる場合は、賞味期限・消費期限の迫った手前の商品を積極的に選びましょう。廃棄される食品を減らすことにつながります。

10月の「食品ロス削減月間」中は、県内のスーパーやコンビニ等にも、秋田犬の私がいます



犬だけにね

手前の商品を選ぶ
秋田犬の私は「ワンダブル」です。

2. おいしく『食べきり』

ご家庭で

- 作った料理は、早めにおいしく食べきりましょう。
- 残ってしまった料理は、リメイクなどの工夫を。

外食時

- メニューを選ぶときは、食べられる量を注文しましょう。
- 注文した料理は、おいしく食べきりましょう。
- 食べきれないときは、お店に相談して、持ち帰りを検討しましょう。



3. 無駄なく『使いきり』

- 事前に家にある食品をチェックし、使いきれ的分だけ購入しましょう。
- 家にある食材を計画的に使いきりましょう。
- 食材の食べられる部分は、できる限り無駄にしないようにしましょう。
- 食べ物の特徴を理解し、適切な保存方法を心掛けましょう。



「秋田県食品ロス削減推進計画」を策定し、削減に向けた取り組みを推進しています

食品ロスを減らすためには、一人ひとりが「もったいない」という気持ちを持ち、普段から意識して行動することが大切です。食品ロス削減の取り組みを、具体的な行動へ移しましょう。

食品ロスとは? 「まだ食べられるにもかかわらず捨てられる食品」のこと。

食品ロスの約半分は家庭から 秋田県は家庭系食品ロスの量が全国比で約1.7倍!

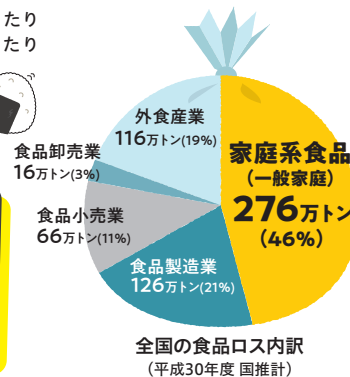
家庭系食品ロスの量は全国で年間276万トン、1人1日当たり59.8gです。これが秋田県では年間3.6万トン、1人1日当たり103.2g!!

おにぎり1個を約100gと仮定した場合、私たち県民は1日1個のおにぎりを捨てていることになります。



なぜ食品ロスは問題なの?

食品の生産・製造・輸送などに使った資源やエネルギーが無駄になる上、食品の処分(廃棄物処理)にも新たな資源やエネルギーが必要となり、温室効果ガスのさらなる排出につながってまいります。また、食品ロスの量に応じて処分費用もかかります。



食品ロスを削減するメリット

家計にやさしい

家計の支出 減



食料を必要な分だけ買い、無駄なく消費することは、家計の節約につながります。

社会にやさしい

税金支出 減



廃棄物の処理にかかる経費が減ること、税金を別の使い道に活用できます。

地球にやさしい

環境負荷 減



温室効果ガスの排出削減につながります。



I Love 秋田産 応援フェスタ
2021 オンライン

「食品ロスを削減する! 教えて!!
ネイガ先生!!」YouTubeで配信中

詳しくはこちらから



教えて ネイガ先生



お問い合わせ先 県温暖化対策課 ☎018-860-1560